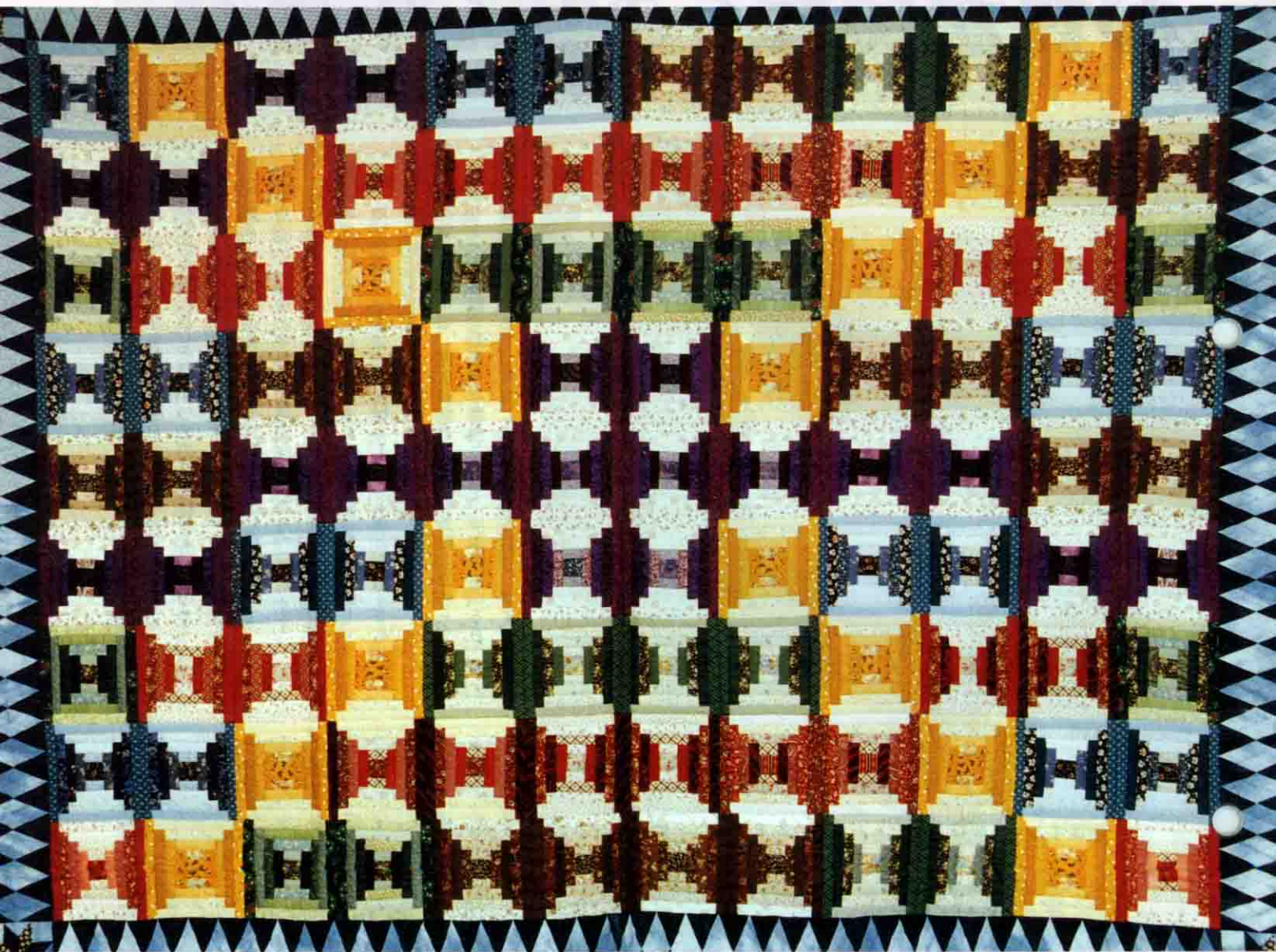




シリーズ

わたしの作品 (4)

パッチワーク

谷山純子さん(下林)の作品「ベットカバー」

谷山さんは以前から手先を使うことが好きで、洋裁をやっていたそうです。それで最初は、洋服を縫った後のはしぎれを使ってパッチワークを始め、だんだん本格的に作品を作るようになったとか。

谷山さんは「この作品は仕上げるのに6か月かかりました。苦勞したところは柄合わせや配色です。一生懸命作ったものは愛着がありますね」と話してくれました。

サークル活動を促進 心豊かにたくましく生きる



指導する方、受ける子どもたちどちらも真剣（片野排禍ばやし）

学校週五日制では、平成四年九月から第二土曜日が休みになり、今年四月から第四土曜日も休みになりました。社会全体の流れとして、かつての高度経済成長期のような、働き過ぎやゆとりのない生活を省みて、改善しようという動きの中で、週休二日制や労働時間の短縮によって、余暇を活用したゆとりある生活志向に変わりつつあります。教育分野の週五日制は、ゆとりある教育改善、生涯学習機運の高まりとともに、子どもたちを家庭や地域に帰し、広く地域社会でさまざまな体験をして、心豊かなたくましい人格の形成を図ることが一つの目的と言えます。

町教育委員会では、週五日制の休業日に対応しながら、地域サークル活動を助長する事業として、少年少女ふるさと学習を進めています。実施してきた概要を紹介します。

地域社会も学習の場

少年少女ふるさと学習は、県から、地域少年少女サークル活動促進事業の委託を受け、ことしから始まりました。柿岡小学校の四年から六年までの児童七十二名を対象に取り組まれています。

この事業は、子どもたちが学校を離れた地域社会の中で、いろいろな人とかかわり合い、さまざまな体験を通して心豊かにたくましく生きる力を身につけ、変化の激しい社会に適応していくための基礎づくりと言えます。

子どもたちにとって、生活や学習の場は学校という枠の中だけでなく、家庭を基盤にして地域社会の一員として生活しているという現実を見つめ、家庭教育や地域社会の教育機能を高めていく必要があるでしょう。



ゲームを楽しみながら積極的に仲間づくり

学校週5日制への対応

地域少年少女 地域社会で



子どもたちが描いた似顔絵にお年寄りは感激(シルトピア)

五月から始まった学習事業では、まず第一回目に仲間づくりとして、ゲームを取り入れたレクリエーションが行われました。

同年の横のつながりが強くなり、縦の関係が強くなったことで、これからのサークル活動展開に大きな効果がありました。

第二回目の六月の学習事業は、郷土芸能に親しむことをテーマに行われました。

片野排禍ばやし保存会(倉本善四郎会長)の会員の皆さんの指導を受けて、太鼓や横笛の実技体験をしたり、模範演技を見せてもらいました。後継者が減少しつつある中で、このような体験によって郷土芸能について新し

ふれ合い高め合って豊かな心



衛さんの宇宙授業では目を輝かせていました。新治村にある老人ホーム「シルトピア」訪問では、お年寄り一人ひとりの似顔絵を書いたり、折り紙を折ってプレゼントすると、寝たきりのお年寄りは、涙を浮かべて喜んでくれました。核家族化でお年寄りといふれ合うことの少ない子どもたちにとって、温かい思いやりの心を育てたよい機会だったでしょう。

九月の活動では、つくばエキスポセンターと新治村にある老人ホームを訪れました。

つくばエキスポセンターでは、プラネタリウムで星座の学習をしたり、海底探査船「しんかい6500」に乗って海底の冒険を楽しみました。また、パソコンを使った毛利

思いやり育てた 老人ホーム訪問

い発見や理解を深める気持ちが出ていくことが期待されます。

また、七月には、自分の住む町について知識を深め、残されている貴重な文化財を大切にすることを育てるための学習が行われました。

峯寺山西光院や善光寺楼門では、町の社会教育指導員の岡野和彦さんの説明に耳を傾け、丸山古墳では文化財を大切に守るために、参加者全員が協力して、ごみ拾いの奉仕作業を行いました。

五日制の休日は自由な時間

学校週五日制に伴って生まれたゆとりある時間は、子どもたちが決められた学習メニューに従って

過ごすものではなく、主体的に考え、自由に行動できる時間であると言えます。



雨の中、丸山古墳のごみ拾い

子どもたちをとりまく家庭や地域は、社会全体が学習の場であるという認識に立って、子どもたちが主体的に考え、有意義な活動が展開できるように援助することや環境づくりが必要で、子どもたちそれぞれが身につけている資質や能力をよりいっそう伸ばして、自信を持って生きることができるよう見守っていくことが大切ではないでしょうか。



おもしろい話が聞けた史跡めぐり

9月議会定例会

一般会計予算105億4、080万円に

平成7年第3回八郷町議会定例会は、9月18日に開会し、22日まで5日間の日程で行われました。上程された案件は、議案11件、報告、請願、認定、同意、諮問がそれぞれ1件ずつで、すべて原案どおり可決採択されました。

旧庁舎解体費など補正

一般会計補正予算では、歳入歳出それぞれ4億1、875万円を

追加し、予算総額を105億4、080万円とすること、来年度予算の朝日小学校屋内運動場新築のための設計監理業務委託費についての債務負担行為を設定、また、道路と消防施設整備にかかる地方債を補正したものです。

歳入の主なものでは、前年度繰越金が2億5、120万6千円の増、国庫補助金は、飯塚山崎線道路整備、消防ポンプ車購入事業などに伴う補助金が1、924万7千円の増です。

また、県補助金では、農村集落センター整備事業や果樹産地高度化事業など主に農林関係補助で5、196万1千円が増額されました。

歳出では、総務費の財産管理費で、旧庁舎建物を解体し、跡地利用の方向が決定するまでさらに地にしておくための工事費や庁舎敷地への椎の木植栽の工事費などを補正、4、990万9千円が増

額されました。

農林水産業費では、低農業農産物の推進を図るための経費や梨の多目的防災網を設置するための補助金等園芸振興費、半田地区の農村集落センター建設に対する補助金などが補正され、7、259万9千円が増額されました。

商工費では、国民宿舎「つくばね」の冷暖房施設等の改修工事の補正などで3、593万8千円が増額になりました。

特別会計では、国民健康保険特別会計が、歳入歳出それぞれ103万5千円を追加し、総額は20億2、003万5千円になりました。また、農業集落排水事業特別会計は、歳入歳出それぞれ871万円を追加、総額8、538万5千円になりました。

〔契約関係〕

防災行政無線施設（固定系）の工事請負契約の締結について次のように決まりました。

○工事名 八郷町防災行政無線施設（固定系）設置工事 ○契約の



当面さら地にしておくため解体する旧庁舎

収入役は仁平氏再任

方法 指名競争入札 ○契約金額 3億2、750万3、950円
○契約の相手方 沖電気工業株式会社 八郷支社（埼玉県大宮市）

平成3年に就任された仁平修介収入役が9月30日をもって任期切れになるため、引き続き仁平氏を選任することについて同意を求め、満場一致で承認を得ました。これを受けて、10月1日付で仁平氏が八郷町収入役に再任されました。

議会提出案件

〔報告〕専決処分した事件の承認について（一般会計補正第5号）〔請願〕学校事務職員と学校栄養職員の「義務教育費国庫負担法」適用堅持を求める請願 〔議案〕▽平成7年度八郷町一般会計補正予算（第6号）▽平成7年度八郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）▽平成7年度八郷町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）▽平成7年度八郷町フラワーヒル柿園団地内汚水処理施設管理特別会計補正予算（第1号）▽八郷町防災行政無線施設（固定系）設置工事請負契約の締結▽消防ポンプ自動車購入契約の締結▽八郷町税条例の一部を改正する条例▽八郷町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例▽八郷町社会福祉法人の助成に関する条例の制定▽政治倫理確立のための八郷町長の資産等の公開に関する条例の制定▽土地改良事業計画について（認定）平成6年度八郷町水道事業会計決算の認定（同意）八郷町収入役の選任の同意（諮問）人権擁護委員の推薦の意見

防災行政無線の設置に着手

二つの系統で構成

防災行政無線は、大きく分けて二つの系統で構成されています。

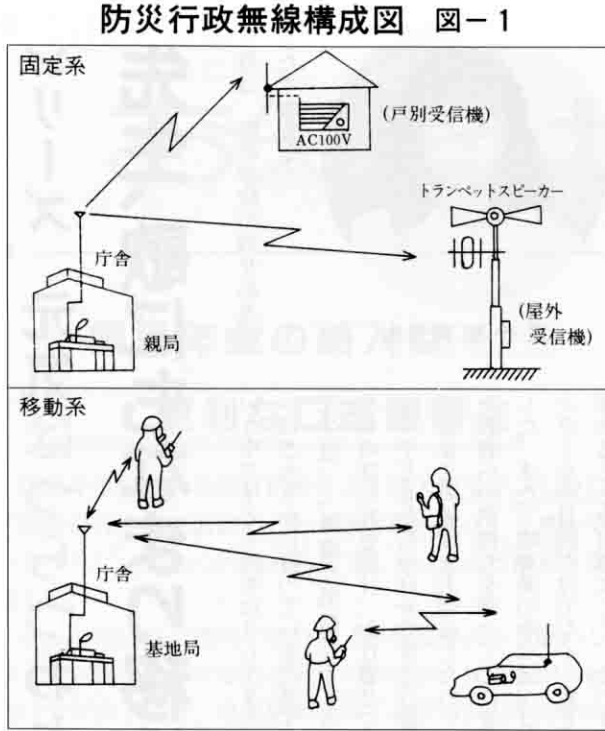
一つは、固定系といって、役場に親局を置き、子局という屋外拡声受信機や各家庭に設置される戸別受信機を通して、無線で緊急放送や行政広報ができるものです。

もう一つは、移動系といって、役場に基地局を置き、車に取り付けた無線機や携帯型無線機で相互

に情報のやり取りができるものです。移動系については、災害発生時、現場の情報収集に大きな力を発揮するものと考えられます。これら二つの系統が使用できるように整備を進めています。

無線の利点災害に強い

災害時には、正確な情報を確実に伝える必要があります。防災行政無線の利点の一つとして、災害時に断線などによって不

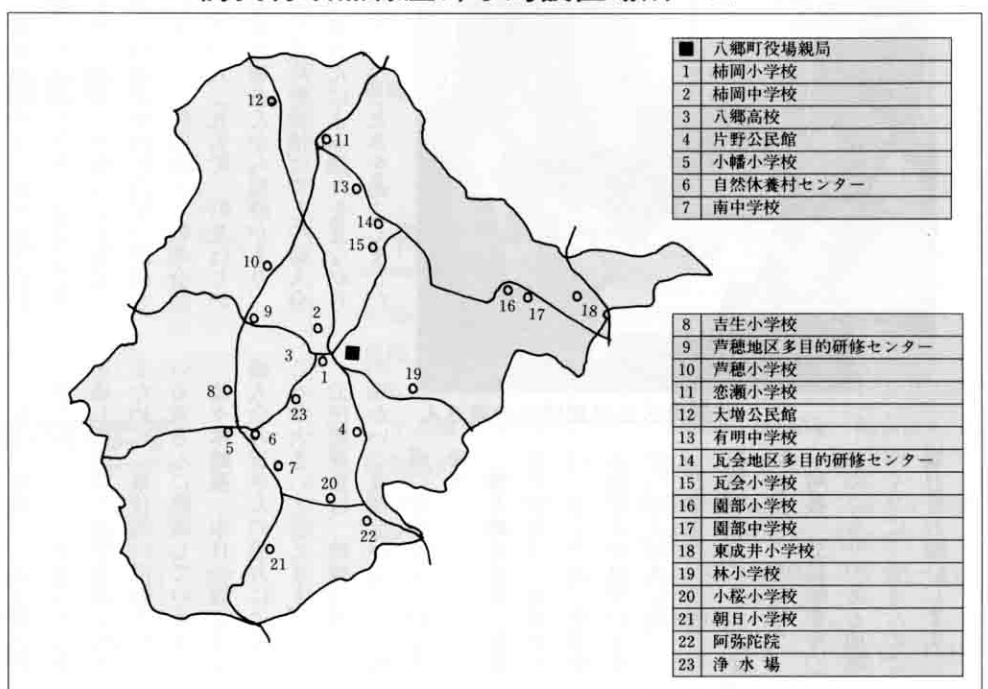


設置費に「ふるさと創生資金」活用

通になる心配がないことです。さらに、各家庭で負担いただく経費がわずかです。各家庭で負担いただくのは、受信機は通常電気を使用しますのでその電気代と、年一回程度交換する予備の乾電池代です。なお、古い電池を入れたままにしておく故障の原因になったり、停電時に機能しませんが、かならず交換する必要があります。

防災行政無線の事業費は、固定系無線設備の工事費が三億二、七五〇万円、移動系無線設備の工事費が一、〇七二万円です。これらの事業は、地方交付税措置のある防災まちづくり事業や移動系無線設備の補助制度を活用して進めています。さらに、財源として、基金に積み立てている「ふるさと創生資金」の一部を充て、安心して暮らせるまちづくりに、町民全体に役立つ、目に見えた基金の活用を図ります。

防災行政無線屋外子局設置場所 図-2



戸別受信機は全世帯へ

移動系の車載型無線機は、町の公用車一五台に、携帯型無線機は役場内の現場担当課や非常時の持ち出し用に二〇台配置します。

固定系の戸別受信機は、各世帯や公共機関など合わせて七、七二

台の設置を予定しており、各世帯の加入申込みは、区長さんを通してお願いすることになります。なお、電波が弱くなる地域では戸別にアンテナ取り付け工事があ

りますので、ご協力をお願いいたします。（平成八年一月ころの予定）屋外拡声受信機は、各地区で主に避難場所となる二三か所（図-2）に設置することになっています。

シリーズ 元気はつらつわれらの先生 (15)

先生、歌にもなまり移りましたか

今月は、南中学校の酒井裕美先生をたずねました。



酒井 裕美先生

酒井先生は、一年生のクラス担任で部活動では吹奏楽部の顧問をしています。南中学が教師としてのスタートで、今年三年目になりました。幼稚園のころからピアノを始め、中学校ではフルート、高校・大学は声楽と音楽のコースを歩んで来ましたが、小さいころの希望は音楽の仕事でしたが、大学のころに、積み重ねた力を少しでも生かせる教師の道を選びました。先生の趣味には、もちろん音楽鑑賞がありますが、仕事に関係したものになってしまふとのこと、ほかにテニスや水泳などで気分転換を図っているそうです。学校を取りまく環境は、のびのびとしていて父母も協力的、そ



南中学校吹奏楽部の皆さん

命にやる姿は尊敬します。友達感覚で何でも相談にのってくれるお姉さんという感じもいいですね。
Q 失敗談などは
A ごく新しいもので、町の音楽会で歌いながら指揮台から落ちました。
Q 部活の目標は。
A 厳しいけれども楽しくということを目指します。
Q 先生へのお願いなどは。
A デートの時間を減らしてぜひ練習時間を多くして。

いう中で子どもたちはうらやましいほど大らかに育っていると話す先生は、「謙虚な気持ちで子どもたちの話に耳を傾け、お仕着せでなく子どもたちが自分で考え行動するまでの過程を大切にしたい」と教育への気持ちを語ってくれました。また、吹奏楽の中では、「コンクール」の目的だけでなく、質を高めることを目標にして、ただ音を出すのではなく、自分の中で理解し、消化して音が出せるように、難しさはあるが努力したい」とこれからの部活動に意欲的でした。

吹奏楽部の皆さんにインタビューしましたのでご紹介します。
Q 授業や部活動では厳しいですか。
A 大会などが近づくときピリピリしてきます。授業のときは優しいですね。部活の時は情熱をもってやっているという感じですよ。
Q 先生のおもしろいところやここがいいなというところは。
A 時々ばけています。最初はおとなしくて上品な方でしたが、最近では八郷なまりも身につけ地が出てきたようです。何でも一生懸命にやる姿は尊敬します。

町長と

ひざを交えて

九月十五日の敬老の日町内各地区では、地区公民館、婦人会が中心となって敬老会が行われました。

柿岡地区では、柿岡地区公民館(佐々木明館長)と婦人会(橋本きい会長)共催による敬老会が、柿岡小学校体育館で開催されました。柿岡地区の敬老会招待者は六二九名で、町長はじめ来賓の皆さんから祝辞があり、その後片野排禍ばやしや婦人会の皆さんによる踊りを見ながら楽しいひとときを過ごしました。



柿岡地区公民館関係の皆さん

橋本婦人会長 敬老会の準備は、前日から行いましたが、小学生の皆さんが机やいすを並べてくれました。お年寄りへの暖かい気持ちを育てるのにより機会だと思っています。
町長 公民館を中心にくもりのある地域づくりに、皆さんのご協力をお願いします。

柿岡小学校の校長室で、地区公民館役員や婦人会役員の皆さんとお話する機会がありました。
町長 生涯教育が叫ばれているなかで、地域の生涯学習活動の核となって、さまざまな行事を通して地域の連帯意識を高めるために、奉仕的に活動されている皆さんに感謝しています。
佐々木館長 本日の敬老会は、婦人会の皆さんの協力によるところが大きいです。
公民館運営は、地域の皆さんの暖かいご支援をいただいて円滑に進めることができます。



八郷ふれあいまつり

11月18日〜20日多彩に開催

第六回八郷ふれあいまつりが、十一月十八日(土)、十九日(日)、二十日(月)の三日間にわたり、中央公民館を主会場に開催されます。

楽しい企画が盛りだくさん

ことは世界湖沼会議の開催に伴って、町でも霞ヶ浦水質浄化ミニシンポジウムを計画しています。

参加団体の催し物は、米や牛乳の消費キャンペーン、盆栽花木展、作品展やバザーなどさまざまな企画が盛り沢山です。

このシンポジウムは二十日に中央公民館で開かれ、講演やアトラクションが催されます。

また、中央公民館大講堂で行うイベントとして平和太郎さんによるショーや猿の演芸などが予定されています。

定や健康相談などをしてご自分の健康チェックをしてはいかがでしょう。

柿岡商店街が江戸時代の町並に

十九日の午前十一時から午後三時まで、柿岡の上宿信号の交差点から下宿交差点にかけて、交通規制が行われ、歩行者天国となります。その間、商店街は江戸時代の町さながらに変わります。

そして、すっかり定着した大名行列は、家老やお姫さまを率いて江戸時代の店構えの商店街を「下にし、下にし」とねり歩き、一大絵巻が繰り広げられます。

柿岡商店街の青年部を主体とした柿岡城まつりも、もう六回目、ことしもスタッフ一同張り切って準備を進めています。

楽しいもの、おもしろいもの、おいしいものがいっぱいあるふれあいまつり。ご家族そろってお出かけください。

なお、さまざまな催し物のご案内は後日チラシでお伝えします。



昨年の柿岡城まつり

特にことは毎年大人気の農林産物即売会を、例年より大規模に行う予定です。八郷産の新鮮な野菜類をはじめとして、くだもの、きのこ類など多数販売する予定です。

同時に開催される健康まつりでは、健康家族や虫歯のない三歳児の表彰健康相談などを行います。血圧の測

花と緑の楽園 茨城県 フラワーパーク 園芸教室 シャコバサボテンを美しく咲かせるために



シャコバサボテンは、大輪で丈夫で花色の豊富な「デンマークカクタス」と総称される系統が十数年前に導入され、以来、秋から冬に楽しむ鉢花として高い人気を博しています。

九月から十月は、シャコバサボテンにとって花芽をつくり、これが蕾に成長していくもっとも大切な季節です。

○日照11時間、15℃で花芽形成日が短くなり、涼しさが感じられる頃花芽分化が始まります。気をつけることは、置き場所に

よっては室内の照明や外灯の影響で短日条件ができないことです。

○水を控え、若い芽は摘みとる九月に入ったら、二〜三週間灌水を止めた後、一度水をやり、また、二〜三週間水を与えませ

蕾がみえ始めるまでは乾かし気味に管理します。同時に小さな淡緑色の茎節葉は全部ひねるようにして摘み取り、後から出てくる芽も同様に摘み取って成熟した茎節ばかりにしておきます。

○蕾がみえたら水は十分に茎節の先端に1mmほどの丸い蕾がみえたら、乾かしすぎないように水は十分に与え、蕾を大きく育てます。

○蕾を落とさないために 温度や湿度の急変で蕾が落ちることがあります。寒くなれば室内にとり込みますが、その前に軒下・廊下・玄関・室内の順に急激な環境の変化を避けてとり込みます。

花がさいた後は、花がらをとり、感想気味に越冬させ、早春に備えます。

フラワーパーク園芸課(伏谷)

将棋盤の上で真剣勝負

八郷棋友会

それぞれにちがう性格を持った八種類の駒を、一手ずつ動かして敵陣の王を詰めるゲーム、将棋。そんな将棋が何より好きな者が集まって、七、八年前に会を発足。

主な活動としては、毎月第二日曜日の午後に、中央公民館で将棋を指しています。いつも十四、五人が集まり、将棋盤を挟んで真剣勝負が続きます。

その他の活動としては、毎年柿岡地区文化祭に、農村高齢者センターなどで将棋大会を開催しています。また、個人的に近隣市町村の大会などへ参加する会員も少なくありません。

入会条件はありませんので、どなたでも入会できます。会員は二十人、会費は年間千円です。

◆代表者 萩原安二郎さん
連絡先 八郷町柿岡九二三
☎四三二一四五五

ゴルフの技術向上をめざして

茨城県アマチュアゴルフ教室 八郷支部

ゴルフ好きな面々が集まって、平成二年に設立。年に六回の研修会を四、九月のあいだ毎月行っています。これは実際にゴルフコースを回って練習を重ねるものです。

また、茨城県市町村対抗アマチュアゴルフ選手権大会に出場するための予選会が九月に、決勝戦が十月にあるので、そのための予選が何回か開催されます。この大会は参加市町村が多く、なかなか決

勝に出場できませんが、八郷町は過去一回決勝に出場したことがあります。

現在、会員数は三十五人で会費は年五千円です。入会条件は特にありませんが、ハンデが二十以内の方でゴルフに意欲を燃やしている方は大歓迎です。

◆代表者 中村謙一さん
連絡先 矢口 昭さん

八郷町山崎一三三
☎四六二三五六九



わたしの手料理

牛ひき肉の巻き揚げ

食生活改善推進員

原田 ひろ子(半田)



ンピース少々 卵1個 こしょう・片栗粉適量 練りがらし・しょうゆ少々

作り方

- ①タマネギ・ニンジンのみじん切りにする。
- ②ボールに牛ひき肉、①の材料、グリーンピース、卵、こしょう、片栗粉の半分を入れて練っておく。
- ③油揚げの三方を切り、二つに開いて片栗粉をふり、②をのせて丸め楊枝でとめる。
- ④蒸し器で③を蒸す。
- ⑤次にフライパンに油を入れ、④を転がしながら油で揚げる。
- ⑥楊枝を抜いて四等分に切り、器に盛る。
- ⑦練りがらしとしょうゆをつけて食べる。

材料

タマネギ 100g ニンジン 100g
牛ひき肉 200g 油揚げ 8枚 グリ

わが家CONYTO



真家

宮 直紀ちゃん

父 宗四郎さん 母 澄子さん
平成3年9月25日生まれ

♥家族からの一言

ミニカーで遊ぶのが大好き。食べ物なんでも好き嫌いなく食べます。

四人兄弟の末っ子なので、ちよっぴり甘えっ子で、負けず嫌いな子です。これからも元気に育ってほしいです。

歴史の散歩道

⑩

八郷の「オオダラ」

奈良時代、聖武天皇の詔勅で編纂された『常陸国風土記』那賀郡の項に「平津の駅（西二里に岡あり。名を大楠といふ。上古、人あり、軀は極めて長く、身は丘壘の上に居ながら、手は海濱の蟹を撈りぬ。其の食ひし貝、積りて岡と成りき。時の人、大くじりの義を取りて、今は大楠の岡と謂ふ。其の踐みし跡は、長さ四十餘歩、広さ二十餘歩なり、尿の穴の径、二十餘歩許なり）と記す一節がある。この「貝が積りて岡と成りき」とは、水戸市塩ヶ崎（旧常澄村）に現存する縄文時代前期の著名な大串貝塚のことである。

大串貝塚の起源を巨人伝説と結び付けて『常陸国風土記』に紹介されていることは、古く奈良時代の人々もこの貝塚の存在に関心を寄せていたことがうかがえる。

巨人伝説は全国各地に分布する。そこに登場する人物は異常に大きな体の超人間的な存在であり、主に河川湖沼など地形の成因や山塊・地名などの呼称起源説話にかかわっている。希少例としては、古来から伝承される習俗や作法・信仰なども結び付いて登場し、例外なく人間以上の偉大な事業を成し

▼大増から望む大足山



遂げた内容が骨格となっている。この巨人伝説を所によつては、「ダイダラボウ」とも呼んでいる。

県内で最も有名な説話に登場する巨人は内原町大足（オオダラ）で生まれたという。その巨人は「里をひとまたぎにして歩き、大串から磯浜に届くような大串で魚を焼いて食べ、筑波山に腰掛けて霞ヶ浦の水を飲み、鬼怒川で洗濯をした。そして、筑波山と富士山の重さを量ろうと天秤棒で担ごうとしたところ、筑波山が落ちた拍子に、頂が二つに割れ、男体山・女体山になったと、伝えられているが、八郷町域にはこうした具体的な巨人にちなむ説話は伝承されていない。

恋瀬地区には、オミ・オオマス・オオタ・オオツカ・オオハタ・オオクボ・オオタニ・オオヌマ・オオヒロ・オオイシザワなど、「オ」からスタートする地名が意外に多い。とくに、太田地内の限られた範囲に点在する五か所の

字名「大足」には少なからぬ興味を感じ。その五か所とは、一オオアシ（大足）二オオアシヤマ（大足山）三オオダラ（大足）四オオダラマエ（大足前）五オオダラヤマ（大足山）であり、「大足」の同音異音地名が一つの地域に集中する例は極めて珍しい。ところが、これらの地名に期待していた巨人説話が伴っていないことは、他に地名成因の背景があるように思われるのである。と同時に柿岡と須釜地内にある「オオダラ」についても同じことが指摘できるのである。

恋瀬地区が八郷盆地のなかで比較的古くから開けていたことは、縄文時代に潮の遺跡の多いことから理解できる。しかし、恋瀬川流域に支配権を確立した首長の統率のもとで、多くの領民が生産活動や実生活に活況を呈するようになるのは、佐自塚古墳（佐久・前方後円墳）や諏訪山古墳（中戸・前方後円墳）が出現する五世紀中葉の古墳時代中期以降と推定されている。

五世紀という時期は、横穴式石室の採用とか、須恵器や馬具製作技術の採用、鉄製農耕具の導入など、朝鮮半島をつうじて大陸の進んだ文物が伝播した時期であった。とくに、古墳時代に移行しても、当初は弥生時代からの木製農耕具に依存していた生産手段は、鉄製農耕具の導入によって田畑の開墾に、より強力な機能を発揮するように

なり、やがて組織的な量産化の進展と普及により、六・七世紀ごろには農耕地の拡大と深耕作物の栽培などに大きな役割をになうのである。

とりわけ鉄製品の生産は、より高度の精練技術が不可欠とされていることから、專業集団による組織的な生産活動であったことが推測される。製鉄史研究の専門家の説によれば、古墳時代から奈良・平安時代にかけて、鉄の生産專業集団が活躍したと推察できる地域、あるいは、その周辺域で砂鉄などの原材料を供給したと考えられる地に、例外なく「オオダラ」の地名が認められるとともに巨人説話も伝承し、鉄の生産活動が行われていたことを示唆する地名が比較的多いという。これらのことをふまえて、八郷町域の行政単位である四十八の大字に属する字名の中から、鉄の生産にかかわると思われる「ギン・カネ・カジ」などと表示する暗示的な地名を選びだしてみた。

まず、恋瀬地区以外からあげていくと、金指（カナサシ）・加生野（カジクボ）・山崎（カシマエ・カシヤマエ・カジヤムカイ）・真家（カネコロガシ・カネコロバシ）・下林（カネガサワ・カネコバタ）・半田（カネヤマ・カジヤダ）・柴内（カネタ・カジヤダ）・菖蒲沢（カネタ）であり、恋瀬地区のそれは、大田（カネグラ）・中戸（カナホリ・キンホリ）・小見（カネガサワ・カネウシロ・カネノウシロ・カネノマエ・カネマエ）・大増（カネガサ

ワ・カネグラ）・大塚（カナガサワ）とある。このように全町域に散在する傾向にあるとしても概ね恋瀬地区に集中する結果となっている。このほか小見に「フキアゲ・フクマチ」、大増には「スナガマ・スナコダ」という字名が存在し、鉄の生産に直接結び付くと思われる「鉄吹き」や「砂鉄」に由来する地名と判断してまず誤りではない。

古代社会における恋瀬地区は、住環境にも恵まれ、砂鉄を含め生産性の優越な地域だったことがしのばれるとともに、製鉄に関する高度の技術をもった專業集団が当地に移住し、その生産活動が順調に推移した歴史的事象が語り継がれ、いつしか、口承はそれぞれの地名の成立に大きな背景とされたのであるまいか。さらに恋瀬の全域からは、「オオ」の地名が広範に認められることから、あるいは、古代の有力豪族であった「オオ（天・多）氏」と深く関わっていた地域だったのかも知れない。してみれば、鉄の生産活動に従事していた集団は、オオ氏の勢力伸長を支えていた組織であった可能性も捨てきれないのである。

なお、大増から望む大足山の山容は裾部まで見渡せる美しい姿として映る。大足山は、古代という限られた時代であるが、集落に隣接して諸神を奉斎できる格好の聖地として信仰の対象にあったと思われるし、あるいは、オオ氏の祖神を祀る山だったのかも知れない。八郷町文化財保護審議会委員 西宮一男



吉生 土佐一成 (6)



太田 藤岡舞夏 (7)



月岡 菱沼和行 (11)



南 風



砂 羅



私もの
ひとこと

芦 穂地区のサイレンがしばらく鳴りませんでした。気になっていたところ、最近鳴るようになりました。サイレンを気にして仕事をしている一人です。安心しました。

上曾 菊池富美子(48) 穂地区のサイレンの故障で住民の皆さんにご心配をおかけしました。その後修理をしましたので、大丈夫だと思えます。今後このようなことがありましたら、役場総務課までお知らせください。

八 郷町には姉妹都市があるのですか？共通点のある都市と姉妹都市になるのはおもしろいのではないで

習字コーナー

評 玄潮会 森 浩亭

六歳 しが ゆか

ようねんしかゆか

元気いっぱいなのびとした作品です。

吉生小五年 藤田 雅人

取り入れ

力まず、かわいらしく書けました。

しょうか。例えば、三郷市(埼玉)、六郷町(山梨、秋田)のように八郷と似た名前など。姉妹都市提携で、交流を深めたり、助け合うのはいかがでしょうか？

小室 上野範子(38) 現在のところ、八郷町が姉妹都市提携をしているところはありませんが、しかし、姉妹都市提携の意義や必要性を、町民の皆さんと一緒に考えながら、将来、姉妹都市提携に向けて検討して行きたいと思っています。

私 はフルーツライン沿いで小さなお店を開いております。たびたび道を聞かれて、その度いろいろとお話をします。「とても良い所ですね。自然がたくさん、空気もいいし」等々。でもあたりを見回しますと、空き街が

たくさん捨ててあり、思わず恥ずかしくなります。皆さん、缶ボイはやめて必ずゴミ箱に入れましょう。匿名希望近八郷に移転してきて、大自然に圧倒される日々を送っております。自然といっても、ほとんど人間の営みの影響を見ない場所はないのですが、それでもその復元力の強さに驚かされます。このような八郷の自然について、地質・土壌のなりと人間の共生について考えて行きたいと思えます。ご興味をお持ちの方、あるいは既にそのような活動を行って居られる方のご連絡をお待ちします。

◎連絡先：野口淳夫 柴内二六八一

☎四一三三〇六(自宅)

☎二九八五三二二九五九(職場)

フラワーパークの入園券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 91

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

- ①今月の表紙は何の作品？
(A)パッチワーク (B)洋裁 (C)七宝焼き
- ②ことしの「八郷ふれあいまつり」
が開催されるのは何月？
(A)10月 (B)11月 (C)12月
- ③茨城県フラワーパークの町民無
料感謝デー11月13日は何の日？
(A)県民の日 (B)文化の日
(C)勤労感謝の日

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ91と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入場券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

☆締切日 平成7年11月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙12月号

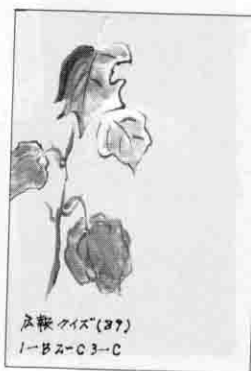
【広報クイズ89の当選者の発表】

正解は1-B、2-C、3-Cでした。
応募総数49通、正解44通の中から
次の10名が当選しました。

原田光江(半田) 岡野昭江(瓦谷)
滝田和章(柿岡) 吉田東(山崎)
小原とく(片野) 桜井美希(柿岡)
中嶋敏子(加生野) 友部文子(柿岡)
市村志つ(小見) 渡辺邦子(宇
治会) [敬称略]



コロの兄



月岡 萩原志づ



ちゅういんがむ

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

爽やかな秋の気配が漂いて九月の空はすみ渡りたり

東成井 小島 せん

落ち蟬の姿あわれに見る朝よ幾年かけて生まれ来たるに

山崎 鈴木 君江

気配りの整えし宿野の花を活けて清しも心和めり

東成井 鴻巣 益子

俳句

綿引鼓峰選

草茂り茂りて径のなきごとく

山崎 安達利 男

佇みし群がり咲ける露草に

東成井 鴻巣 益子

俚謡

鈴木弦月選

這いば立てよと育てる孫のこぼれ落ちそな片さくば

柿岡 鈴木 千代子

事故で亡くした母親偲び落とす涙の三回忌

下林 鈴木 寿美

上る物価に落ち込む景気肌に冷たい不況風

下林 小野瀬 午風



毎年秋に開催された町民レクリ
エーション大会。写真は仮装行列
の様子です。(昭和三十八年当時)

やさとメモリー

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線二三四三)



八郷町小中学校音楽発表会

美しいハーモニの競演

町小中学校音楽発表会が十月二日、中央公民館大講堂で開催されました。発表会には町内の小学校十一校、中学校四校が参加、息のあった合唱に会場から盛んな拍手が贈られました。

なお、この中から小桜小学校、瓦会小学校、東成井小学校、柿岡中学校、園部中学校が、十月十三日に八郷の中央公民館で開催された郡音楽発表会に出場しました。

犯罪防止の立て看板を設置

石岡警察署ではこのほど、八郷町役場防犯協会石岡支部と連携して、町内の林道わきなどに犯罪防止の立て看板十五本を設置しました。
ここ数年の間に町内の山林で、自殺や変死体が多く発見されています。これらをなくすために地域の方々の協力を得

ようと立て看板が立てられたものです。看板は縦九十センチ、横四十五センチで「おかしいなと思ったら人相・特徴・ナンバーチェックで一一〇番、地域の安全はみんなの協力で」などと書かれています。



小雨の中でバードゴルフ大会

第二回町民ターゲットバードゴルフ大会が九月二十四日、総合運動公園で開催されました。大会当日は、あいにく小雨のぱらつく悪天候でしたが、二十八人の皆さんが参加し、プレーを楽しみました。結果は次のとおりです。(敬称略)

〔一般男子の部〕▽優勝大竹英一▽準優勝相沢栄▽三位底光男
〔一般女子の部〕▽優勝底節子▽準優勝成田きみ子▽三位飯島はつ子
〔シニア男子の部〕▽優勝森山儀次▽準優勝岡崎義男▽三位九島久林



ありがとうございます

○教育環境の整備のためにと吉生小学校へ二十万円 小倉 鈴木房四郎
○吉生小学校へ池(コンクリート製) 平成七年度卒業生一同
○園部中学校へ教育用図書 山崎 南澤茂樹



小林路恵(小見・21歳)さん

休日はショッピングに行くことが多いかな。これからは料理を習ってみたいです。

ときめき
ティードライム



スポ少秋季大会で熱戦が展開

スポーツ少年団秋季トーナメント大会が十月三日・九日の二日間にわたり、総合運動公園で開催され、野球に十三チーム、バレーボールに十八チームが参加しました。結果は次のとおりです。

〔野球〕◎Aブロック▽優勝恋瀬スポーツ少年団▽準優勝柿岡つくばねスポーツ少年団▽三位小幡スポーツ少年団・桜ス

ポーツ少年団◎Bブロック▽優勝桜スポーツ少年団〔バレーボール〕◎Aブロック▽優勝桜スポーツ少年団▽準優勝つくばねスポーツ少年団▽三位小幡スポーツ少年団・東成井スポーツ少年団◎Bブロック▽優勝小幡スポーツ少年団▽準優勝桜スポーツ少年団▽三位声穂スポーツ少年団・朝日スポーツ少年団

柿中吹奏楽部が東関東コンクールへ

東関東吹奏楽コンクールが九月十六日、神奈川県川崎市教育文化会館で開催されました。これに柿岡中学校吹奏楽部が出場し、銀賞を受賞しました。

同吹奏楽部は県南地区大会で優良賞に、県大会で金賞に輝き、茨城県代表の六校の中に選ばれ、このコンクールに出場したものです。

この日、出場した生徒たちは四十四人、三年生が約半分、一・二年生があと半分

です。練習は毎日、朝と放課後、それに休日にも練習したそうです。指導者の尾花先生は「生徒たちは想像以上に力を出して、とてもよくやってくれました。東関東コンクールに出場できるとは思っていませんでした。父母の方々も最後まで見守ってくれてありがたかったです」と感想を話してくれました。

毎日の練習の成果が実り、生徒たちにはとてもよい思い出となりました。

お年寄りのために大正琴を演奏

大正琴同好会の皆さんが九月二十八日、新治村の老人ホーム「シルトピア」を訪れ、大正琴の演奏を披露しました。

演奏は、同好会のメンバーである友部芳江さん、大久保はま子さん、永山しな

さん、市村まささん、飯村花子さんら五人が、童謡など十一曲をかなでました。懐かしい音色に、お年寄りの皆さんは一緒に歌を口ずさみ、楽しいひとときを過ごしました。



秋は運動会の季節、小中学校、保育所、幼稚園と運動会が続きました。その中で目立ったのは、ピデオなどを撮りながら一生懸命我が子を追っている父親のいじらしい姿でした。かくいう私もその一人ではあったのですが……。

その昔、私が小学生のころの運動会を思い出してみると、母親たちの姿は印象にあっても父親の姿はほとんど印象に残っていません。それが今、状況は変わってきています。運動会ばかりでなく、他の行事にも父親の参加が目立つようになりました。忙しい中にも、子どもに目を向け、成長を見つめようと努力する姿がうかがえます。

ところで、現在我が家には小学生が二人ほどもいます。その二人が運動会を前に私に、「運動会には行けるの」と尋ねてきました。私が「行けるよ」と答えると「エッ、本当に行けるの」と驚いた様子。その驚きの中には、日ごろの私の行動から推し量って、意外な回答を得たことへの複雑な気持ちが含まれていたことは確かです。

秋は、私にとって唯一親子関係を修復し、保全を図る季節です。重



一日中バラの香りに包まれて

500品種、30,000万株の世界のバラが咲き誇る茨城県フラワーパーク。園ではいま「秋バラまつり」を開催中です。また、隣接する「ふれあいの森」には、最高時速40kmのスポーツスライドや周囲の景色を満喫できるフラワーサイクルなど楽しさがいっぱい。皆さまのご来園をお待ちしています。



スリル満点 スポーツスライド

●発行／八郷町役場 ●編集／秘書広聴課 ☎〇二九九(四三)一一二一
所在地／茨城県新治郡八郷町柿岡五八〇の一

※ただし、スポーツスライド・フラワーサイクルのご利用は有料となります。

町民無料感謝デー

県民の日11月13日(月)



茨城県フラワーパーク 町民ご招待券

○本券一枚でお一人様限り
○平成7年11月13日当日限り有効



茨城県フラワーパーク 町民ご招待券

○本券一枚でお一人様限り
○平成7年11月13日当日限り有効



茨城県フラワーパーク 町民ご招待券

○本券一枚でお一人様限り
○平成7年11月13日当日限り有効



茨城県フラワーパーク 町民ご招待券

○本券一枚でお一人様限り
○平成7年11月13日当日限り有効



茨城県フラワーパーク 町民ご招待券

○本券一枚でお一人様限り
○平成7年11月13日当日限り有効